

取扱説明書

アクトモア rollz (ロールズ) アクトモア rollz (ロールズ) ロータイプ

このたびは、本製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項や使用方法などを記載しています。

- 本製品をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- 本製品は、改良などにより「取扱説明書」の内容と一部異なる場合もあります。
- ご不明な点がありましたら、当社までお問い合わせください。

1 ご使用上の注意

危険

【死亡または重傷を招くもの】

- 座面に腰を掛けるときや、本製品から手を離すときには、必ず左右両方の駐車ブレーキをかけてください。ブレーキがかかっていないと動き出して衝突や転倒の危険があります。また、腰を掛ける場合は平坦な場所で座ってください。
- エスカレーター・動く歩道・階段などでは使用しないでください。段差のあるところでの使用は十分注意してください。転倒のおそれがあり危険です。
- 溝や踏切の線路での落輪、キャスターの挟み込みには十分注意してください。

警告

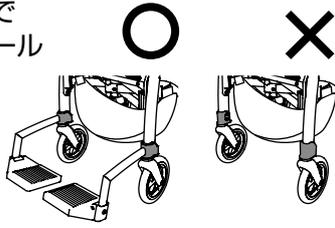
【死亡または重傷を招く可能性があるもの】

- 取り扱いが理解できないと思われる方が使用する際には、十分注意してください。取扱説明書に書かれた内容が理解できないと思われる方（幼児や認知症の方など）が使用する場合には、保護者、介護者などが必ず取扱説明書に従った使用を確保し、本人による製品の誤動作、その他誤った使用方法による事故を未然に防いでください。
- 製品の使用者最大体重（積載物を含み125kg）を守ってください。
- 凹凸や傾斜のある路面、すべりやすい場所で使用するときは十分注意してください。急勾配の坂道では使用しないでください。転倒のおそれがあり危険です。
- 座面の上で立ち上がらないでください。転倒のおそれがあり危険です。
- 走行時のブレーキ操作は、必ず両手で同時にブレーキレバーを握ってください。片方のブレーキレバーだけを握ったり、片方の握りが弱い場合、バランスが崩れて転倒するおそれがあります。
- 急ブレーキをかけないでください。バランスが崩れて転倒するおそれがあります。
- 走行時は必ずグリップ（押し手）を握って走行してください。グリップ（押し手）以外の部分を持って走行すると、転倒するおそれがあります。
- 本製品を体の後ろに置いて使用しないでください。転倒のおそれがあり危険です。

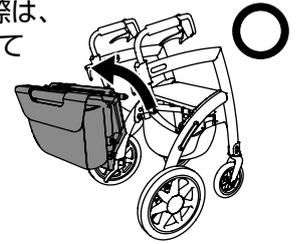
⚠ 注意

【軽傷または中程度の傷害を招く可能性があるもの】

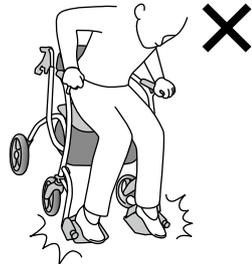
- 本製品を「乗車仕様」で使用の際は、必ずロールズレスト(足置き)を取り付けてください。足をひきずるなどしてケガをするおそれがあります。



- 「歩行車仕様」で腰掛ける際は、乗車仕様セットを取り外して使用してください。乗車仕様セットが破損したり転倒するおそれがあります。



- 「乗車仕様」で使用する際は、ロールズレスト(足置き)に立ったり、直接体重をかけないでください。ロールズレスト(足置き)が破損したり、バランスを崩し倒れるおそれがあります。



- 「乗車仕様」の走行中は、本製品から体を乗り出さないでください。車体が不安定になり転倒するおそれがあります。



- 歩行車として使用する際は、必ず「歩行車仕様」で使用してください。「乗車仕様」では、歩行車として使用しないでください。
- 「乗車仕様」で使用する際は、必ず介助者が付き添ってください。周囲の安全や搭乗者の転落に注意してください。
- 仕様を変更する際の操作や、「乗車仕様」での操作は必ず介助者が全て行ってください。
- 仕様を変更する際は、使用方法で指定されている部分以外を触らないでください。手や指などを挟み、ケガをするおそれがあります。
- 分解や改造をしないでください。
- 火気に近づけないでください。座面部が燃えたり、熱くなった金属部でやけどをするおそれがあります。
- 座面に腰掛ける際、小柄で足が地面につかない方や、足がしっかりと地面につかない方の使用はお控えください。
- 袖口やすその広い服装などで本製品を利用する場合は、注意してください。衣服がキャスターに巻き込まれるおそれがあります。
- バッグの積載荷重(10kg)、またはオプションのロールズ用ホルダー3in1へショッピングバッグなどを掛ける場合は片側の積載荷重(2.5kg)を守ってください。
- バッグの中に鋭利なものを入れないでください。バッグが破れるおそれがあります。
- バッグやオプションのロールズ用ホルダー3in1以外の所に荷物をのせたり、つるしたりしないでください。
- 本製品の開閉操作を行う際には、幼児を近づけないでください。
- 折りたたむときは手を挟まないように注意してください。
- 風雨の強いとき、また傘を持ちながらの片手での使用はおやめください。

2 製品の特長

- 本製品は、2つの仕様で外出をサポートする4輪歩行車です。
歩行車仕様：使用者が自分で本製品を押して、歩行することができます。
乗車仕様：使用者は座面に腰掛け、介助者による操作ができます。
- 折りたたみ式なので、保管場所を取らず持ち運びにも便利です。
- 10kgまで入れられるバッグ付で荷物を収納できます。
- オプションのロールズ用ホルダー3in1は、杖を掛けることができます。また、ショッピングバッグも掛けられるのでお買物に便利です。

【歩行車仕様】

- 休憩時の腰掛けとして使える座面付きです。

【乗車仕様】

- 使用者の体に合わせバックサポート(背シート)を調整することができます。

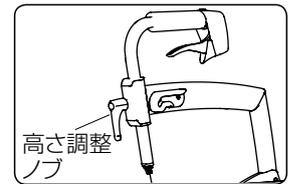
3 各部の名称



4 適合調整

グリップ (押し手) の高さ調整のしかた

- ① 左右のグリップ (押し手) の下にある高さ調整ノブを反時計回りにゆるめます。
- ② グリップ (押し手) を上げ下げし、高さを調整します。無段階で調整が可能です。
- ③ 高さが決まったら、高さ調整ノブを時計回りに回して確実に締めてください。



ポイント

真っすぐ立って腕を下げたときの手首の位置、あるいは大転子のあたりをめやすにグリップ (押し手) の高さを調整します。実際に本製品を動かしてみて押しやすい高さを確認するとよいでしょう。

△ 注意

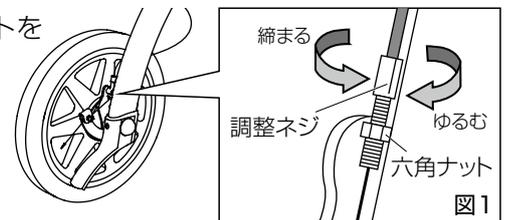
高さ調整を行った際は、左右同じ高さであることを確認してください。
また、調整ノブの締め方がゆるいと、使用中にグリップ (押し手) がぐらつき、転倒するおそれがあります。

ブレーキ調整のしかた

ブレーキが掛かっていないことを確認してください。

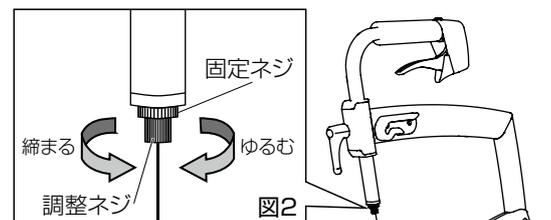
[後輪キャスター側の調整]

- ① 後輪キャスター上方にあるブレーキワイヤーを留めている六角ナットをゆるめます (図1)。
- ② 調整ネジを回してブレーキを調整します (図1)。時計回りに回すと、利きがゆるくなります。逆に、反時計回りに回すと、利きがよくなります。
- ③ 調整後、六角ナットを確実に締めてください。



[グリップ (押し手) 下部の調整]

- ① グリップ (押し手) 下部にあるブレーキワイヤーを留めている固定ネジをゆるめます (図2)。
- ② 調整ネジを回してブレーキを調整します (図2)。時計回りに回すと、利きがゆるくなります。逆に、反時計回りに回すと、利きがよくなります。
- ③ 調整後、六角ナットを確実に締めてください。



△ 危険

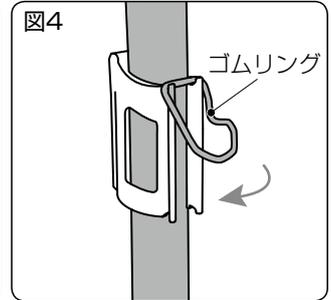
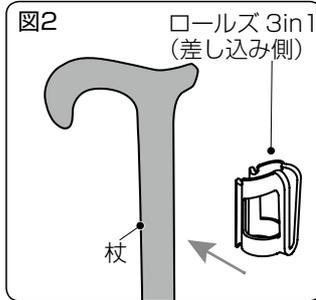
ブレーキ調整部は左右2ヶ所あります。左右のブレーキが同じように利くように調整してください。左右のブレーキの利き方が違うとバランスを崩すおそれがあります。

ロールズ用ホルダー3in1の取り付けかた（オプション）

- ① 本体フレームの左右にロールズ用ホルダー3in1（受け側）を差し込んで固定します（図1）。
- ② ご使用の杖にロールズ用ホルダー3in1（差し込み側）を取り付けます（図2）。
杖の太さに合わせてゴムリングの種類（#1：20mm・#2：22.5mm・#3：25mm）を選択し（図3）、ロールズ用ホルダー3in1（差し込み側）をゴムリングで留めて固定します（図4）。

△注意

ロールズ用ホルダー3in1を取り付けるときは、手や指を挟まないように注意してください。



5 ご使用前の準備と点検

ご使用前に以下の点を確認してください。

- ブレーキレバーを握り、ブレーキが利くこと。
- 駐車ブレーキを握り、駐車ブレーキがロックされていること。
ブレーキの調整ネジを締めても利きが悪いときは、当社にご連絡ください。
- キャスターがゆるんでいないこと。
- グリップ（押し手）の高さ調整ノブがゆるんでいないこと。

6 ご使用方法

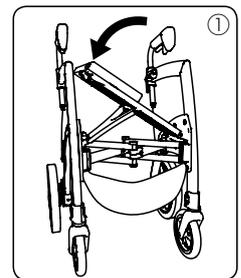
1. 開きかた

- ① グリップ（押し手）を両手で持ち、外側に開きながら座面を押し下げ、車体を開きます。

△注意

座面の裏にある折りたたみレバー（赤）が「カチッ」とロックされたことを確認してください。

- ② 座面のクッションを取り外し「rollz motion」マークが正面にくるように設置してください。



2. 走行時のブレーキの掛けかた

- 自転車のブレーキと同様に、グリップ（押し手）とブレーキレバーを同時に握ると、ブレーキが掛かります。
- ブレーキレバーから手を放すとブレーキは解除されます。

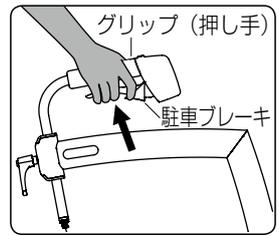
△警告

ブレーキを掛けるときは、両手で左右同時にゆっくりとレバーを握ってください。



3. 駐車時のブレーキの掛けかた

- ブレーキレバーを握りながら左右の駐車ブレーキを「カチッ」という音がするまで握ってください。
- 解除するには、ブレーキレバーを駐車ブレーキのロックが解除されるまで握り込んでください。

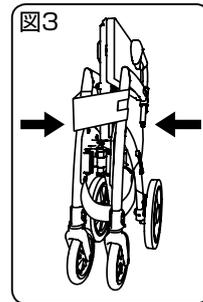
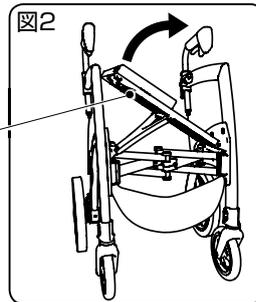


⚠ 危険

座面に腰掛けるときには、必ず駐車ブレーキを掛けてください。

4. 折りたたみかた

- ① 座面のクッションを取り外し、図1のように位置を移動してください。
- ② 片手でグリップ（押し手）を持ちながら、座面の裏にある折りたたみレバー（赤）を握り座面を持ち上げてください（図2）。
- ③ 完全に折りたたむまで横から押してください（図3）。

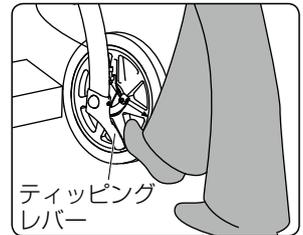


5. ティッピングレバーの使いかた

後輪キャスターの内側にあるティッピングレバーを踏み、前輪キャスターを上げます。テコの原理で前輪キャスターが容易に上がるので、段差の乗り越えに便利です。

⚠ 危険

ティッピングレバーを勢いよく踏んだり、バッグに荷物を入れた状態で段差を乗り越えるとバランスを崩すおそれがあります。必ずグリップ（押し手）を両手でしっかり握り操作してください。



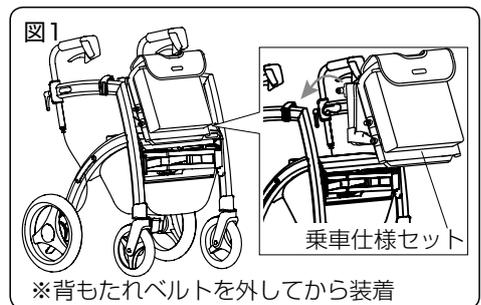
6. ロールズ用ホルダー3in1の使いかた（オプション）

ロールズ用ホルダー3in1は3つの使いかたができます。

- 使いかた1：杖を取り付ける（写真①）。
- 使いかた2：ショッピングバッグなどを掛ける（写真②）。
- 使いかた3：乗車仕様セットが装着できる（図1）。（P6. [7. 乗車仕様セットの取り外しかた] 参照）

⚠ 注意

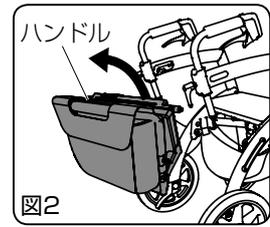
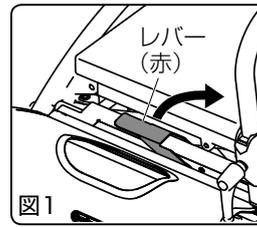
- 杖の先が床に干渉していないか確認してください。
干渉する場合は、ロールズ用ホルダー3in1（差し込み側）の位置を変えて調整してください。
- ショッピングバッグなどの積載荷重（片側2.5kg）を守ってください。
- 乗車仕様セットをロールズ用ホルダー3in1へ取り付ける場合は、座面に腰掛けることはできません。



7. 乗車仕様セットの取り外しかた

「歩行車仕様」時は、乗車仕様セットを取り外して使用することができます。

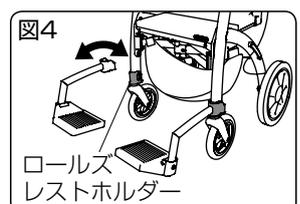
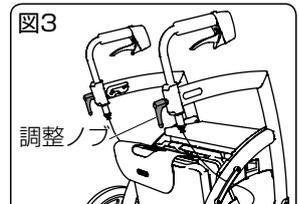
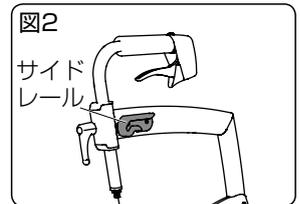
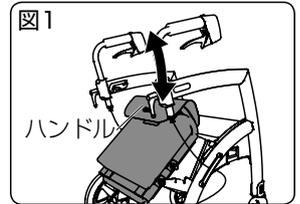
- ① 乗車仕様セット上部にあるレバー（赤）を完全に引き上げ、ロックを解除します（図1）。
- ② 乗車仕様セットのハンドルを持ち上げ、乗車仕様セットを取り外します（図2）。



8. 仕様の変更のしかた

「歩行車仕様」から「乗車仕様」への変更

- ① 駐車ブレーキを掛けます。
（P5. [3. 駐車時のブレーキの掛けかた] 参照）
- ② 背もたれベルトを本体フレームから外します。
- ③ 乗車仕様セットのハンドルを持ち上げ（図1）、左右のピンを本体フレーム内側にあるサイドレールへスライドさせてはめます（図2）。
- ④ グリップ（押し手）の調整ノブを反時計回りに回し、外回りに回して後ろ向きになるようにします。介助者の握りやすい高さに合わせて、調整ノブを時計回りに回して締めてください（図3）。
- ⑤ 乗車仕様セットのバッグからロールズレスト（足置き）を取り出し、本体フレームの前方にあるロールズレストホルダーへ差し込み取り付けます（図4）。



ポイント

バックサポート（背シート）の背張り調整ができます。

- ① 乗車仕様セット後方のカバーをめくります。
- ② 4本のベルトは、それぞれの張り調整ができるので、使用者の背中形状に合わせてベルトを張ったりゆるめたりし、面ファスナーで固定してください。
- ③ 調整後、乗車仕様セット後方のカバーを戻します。

△ 注意

ロールズレスト（足置き）の取り付けは、必ず介助者が行ってください。搭乗者が取り付けを行うと、転倒するおそれがあり危険です。

「乗車仕様」から「歩行車仕様」への変更

- ① 駐車ブレーキを掛けます。
（P5. [3. 駐車時のブレーキの掛けかた] 参照）
- ② 乗車仕様セットのハンドルを持ち（図1）、本体フレーム内側にあるサイドレール（図2）から左右のピンをスライドさせ、ハンドルを折りたたむように下側に下げます。
- ③ グリップ（押し手）の調整ノブを反時計回りに回し、グリップ（押し手）を外回りに回して前向きになるようにします。使用者の握りやすい高さに合わせて、調整ノブを時計回りに回して締めてください（図3）。
- ④ ロールズレスト（足置き）をロールズレストホルダーから外します（図4）。ロールズレスト（足置き）は乗車仕様セットのバッグへ収納することができます（図5）。
- ⑤ 背もたれベルトを本体フレームに取り付けてください。

△ 注意

「歩行車仕様」時に腰掛けるときは、駐車ブレーキを掛けて乗車仕様セットを取り外してから、座面に腰掛けてください。（[7. 乗車仕様セットの取り外しかた] 参照）

7 保守・点検

- ご使用前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態でお使いください。
 - ① キャスター、ブレーキなどのゆるみを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
 - ② ブレーキの利き具合が悪いときは、後輪キャスター上部のブレーキパッドに付いているブレーキ調整ネジを回して調整してください。それでも直らないときには、当社までご連絡ください。
- 水を含ませた布でふき、汚れを取り除いてください。

8 保管場所

次のような場所では、保管しないでください。故障の原因となります。

- 雨が当たる場所
- 炎天下、直射日光が当たる場所
- 湿気の多い場所
- 高温になる場所

9 故障かな？と思ったら

故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度以下の項目をチェックしてください。

症 状	考えられる原因	処 置
グリップ（押し手）がグラグラと動く	グリップ（押し手）の高さ調整部が確実に固定されていない	グリップ（押し手）の高さ調整ノブが、確実に締まっているか確認してください
ブレーキが利かない	キャスターの磨耗	キャスターの交換が必要です。当社にご連絡ください
	ブレーキワイヤーの破損	当社にご連絡ください
駐車ブレーキが利かない	キャスターとブレーキパッドの間に障害物がある	障害物を取り除いてください
	ブレーキの破損	ブレーキの交換が必要です。当社にご連絡ください
	キャスターの破損	キャスターの交換が必要です。当社にご連絡ください
キャスターが重い	キャスターに髪の毛、ビニールなどが巻きついている	キャスターを手で回転させて、巻きついているものを取り除いてください
	駐車ブレーキが掛かっている	駐車ブレーキを解除してください

※ チェックをしても正常に使用できない場合、車体の破損や異常を発見した場合はすぐに使用を中止して、当社にご連絡ください

10仕様

製品名	アクトモア rollz (ロールズ)		アクトモア rollz (ロールズ) ロータイプ	
仕様	歩行車仕様	乗車仕様	歩行車仕様	乗車仕様
本体外形寸法 (全幅×全長×全高)	64.5×63 ×98.5cm	64.5×106.5 ×98.5cm	66.5×63 ×83~95cm	66.5×106.5 ×83~95cm
座面高	55.5cm		50cm	
押し手高	86~98.5cm (無段階調節)		81.5~93.5cm (無段階調節)	
座幅	42cm			
グリップ間距離	44.5cm			
折りたたみ寸法	31.5cm (自立可)			
重量	約11.5kg	約14.8kg	約12kg	約15.2kg
積載荷重	バッグ：10kg/ロールズ用ホルダー3in1 (オプション)：2.5kg (片側)			
キャスター径	前輪20cm/後輪31.5cm		前輪20cm/後輪30.5cm	
使用者最大体重	125kg (積載物を含む)			
カラー	オレンジ		オレンジ/ホワイト	
材質	フレーム	アルミ		
	座面	ウレタンフォーム		

■製品の仕様は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

株式会社フロンティア

フクシのクトハ

フリー
コール **0120-294-518**

千葉本社 福祉本部 〒261-0002
千葉県千葉市美浜区新港 42-4
TEL.043-301-8338



●アフターサービスのお問い合わせ

取扱店